

Lwin くん, ホームステイ in 松山

愛媛大学総合健康センター 村上 和恵

みなさんこんにちは。平成 28 年 12 月に愛媛大学がミャンマーからの学生さん 10 人を短期で受け入れました。その際、2泊3日のホームステイ先を探してほしいという依頼がありましたので友人に相談したところ快く OK してくれました。今日はそのお話です。



平成 28 年 12 月 17 日土曜日です。ホームステイ先佐藤邸での昼食。ちょうど元農学部の先生が描いた水彩画をたくさん展示していましたので、その一部をご紹介します♪





砥部動物園行きを計画していたのですが、寒くて風邪をひきそう，ということで行き先を変更しエミフル（ショッピングモール）へ行きました。「ミャンマーから来ました」と伝えるとみきちゃんも大喜び♪



エミフルでお土産などを買った後，松前町のピーターの家へ向かいました。ピーターはもともと英語の先生ですが，お母さんが芸術家で，自身も大学で芸術を専攻しましたので陶芸も教えています。「英語で陶芸 (go go English)」ときどき愛媛大学のインド人留学生たちもお世話になっています。実はこの日は持ち寄りのクリスマスパーティー。



ピーターと息子のレオくん，陶芸の生徒たちに英語の生徒も。生徒の職種は様々ですが，みな面白いことが大好きです。



生徒の一人がアフリカの楽器ジャンベを持参し，もう一人がウクレレ，急きよ Lwin くんも演奏に加わりました。ミャンマーにも同じような楽器があり，お祭りのときなどに使われるそうです。



水餃子にダルカレー（残念ながら温めている最中でしたのでこの写真には写っていません。）、ピーターが焼いたパンもありますよ。スパゲティーもピーター作。ちゃんとおろしチーズが添えられていました。

翌18日は日曜日。農学部でバングラデシュの留学生2名と韓国の留学生1名，城北キャンパスで中国の留学生2名とウガンダからの留学生1名を pick して友人の宮内邸へ。実は宮内さんはお茶の先生なのです。



軽いお昼を食べた後は着物タイム。Lwin さんの着物はまだしつけの取れていない高価な

大島です。彼のおかげで着物くんもこの日初の晴れ舞台を迎えることができました。



左から 金さん（韓国）、村上、毛さん（中国）、劉さん（中国）、佐藤さん、Lwin くん、
佐藤さん、ジョアニタさん（ウガンダ）、宮内さん（お茶席主催）



みなさん初めてのお茶席に興味津津！



右 2 人はバングラデシュのサルマさんとシャーリアさん。抹茶は苦くて苦手かと思いきや「美味しい！」という留学生もいたりして、このお茶席は大好評でした。

そのあと、今度はイギリス風にリッチモンドのティールームで、Lwin くんが選んだのはダージリン。シルバーポットでのサービスです。ジョアナタさんと毛さんはスパイスたっぷりの季節限定クリスマスティー。



留学生たちには、こうやって機会があればいろんな人たちと接してもらい、日本の生活を経験してもらおうようにしています。友人たちはみなおおらかですし好奇心旺盛ですので

いつも笑いが絶えません。

このホームステイにはおまけがついています。あまり知られていないのですが、石手寺（四国遍路八十八寺の第 51 番目）の左の奥には愛媛県のビルマ会が建てたパゴダがあります。実は佐藤夫妻は毎月そのパゴダと周辺のお掃除に通っているのです。中には戦争中にビルマ戦で亡くなった愛媛県出身の方々のお名前が記されています。Lwin くんのおじいちゃんは中国からミャンマーに来ました。Lwin くんのお父さんとお母さんも戦争を知りません。Lwin くん自身も戦争よりも民主化の影響を受けています。でも、パゴダの荘厳な雰囲気の中で感じる場所があったようです。亡くなった人たちのために手をあわせてくれた姿がありがたかった、と佐藤さんは語っていました。佐藤ご夫妻からは愛媛大学国際連携課の皆さんに「Lwin くんを通して、日本とミャンマーとの交流のきっかけを与えていただいたことに、こころから感謝しています。」という言葉いただきました。縁はどこにあるか分かりませんね。

*写真の公開については留学生や日本人の友人たちからは是非！と了解済みです。